

## グラクソ スミスクライン ADR(GSK)

【セクター】 医薬品

【市場】 NYSE

## 【企業概要】

英国の医薬品大手です。18年12月期の部門別売上は、医療用医薬品部門が56%、ワクチン部門が25%、消費者向け製品（大衆薬）部門が19%です。医療用医薬品部門では、喘息など呼吸器系疾患の治療薬が部門売上の40%を占める主力分野で、HIV治療薬が25%を占めるほか、うつ病、皮膚病、循環器系疾患、がんの治療薬などを手掛けます。業績は英ポンド建ての計上で、業績表のEPS、DPS、BPSは、1ADR（＝普通株2株）に対応する値です。

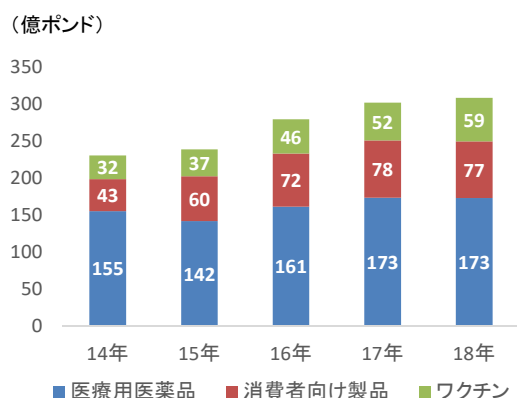
【業績】（単位：売上、純利益は百万ポンド、EPS、DPS、BPSはポンド、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	30,186	4,775	1.94	1.60	0.0	-	6.2
18年12月期	30,821	5,398	2.18	1.60	1.8	-	6.3
19年12月期予想	33,365	6,044	2.44	1.60	1.9	121.3	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【主要指標】

図表1 部門別売上の推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 主力薬の売上（18年）

薬品名	効能	18年売上 (百万ポンド)
トリーメク	HIV治療薬	2,648
アドエア	喘息治療薬	2,422
テビケイ	HIV治療薬	1,639
エリプタ	喘息治療薬	1,089
ベネトリン	喘息治療薬	737
ラミクタール	双極性障害治療薬	617
フルチカゾン	喘息治療薬	595
アボダート	前立腺肥大治療薬	572

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

## 【会社の見方】

売上最大級の喘息治療薬「アドエア」のジェネリック医薬品が米国で発売され、これによる売上減少をいかに和らげられるかが注目点となっています。米国で売上が伸びているHIV治療薬の「トリーメク」「テビケイ」や帯状疱疹ワクチンの「シングリックス」などでカバーすると期待されています。昨年12月に卵巣がん治療薬の「ゼジュラ」を擁する米国のテサロ社を51億ドルで買収すると発表しましたが、この文脈のアクションと考えられます。一方、消費者向け製品ではファイザーの事業と統合して合併会社を設立しており、3年以内に切り離す方針です。

## 【見通し・注目点】

7-9月期の業績は為替変動の影響を除いたベースで、売上が前年同期比11%増（買収効果を除くベースで同6%増）、調整後EPSが同1%増と堅調でした。医療用医薬品が同3%増、ワクチンが同15%増、消費者向け製品が同25%増（買収効果を除くベースで同3%増）です。ワクチンを牽引するのは「シングリックス」で、引き続き米国市場での伸びによって同76%増となっています。通年の調整後EPSは前年比3～5%減で維持されました。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/11/20)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。